

「第1回 いわての道を考える懇談会」を開催しました！

～ 今後の道路整備の目指すべき方向性等について検討しています ～

道路建設課

県では、平成21年度に策定した「いわて県民計画」を踏まえた今後の道路整備の目指すべき方向性等について、道路利用者から広く提言をいただくため、平成23年1月31日に「第1回 いわての道を考える懇談会」を開催しました。

懇談会に先立ち、平井県土整備部長から、「岩手の道路は広範な役割を担っているが、道路ネットワークは特に三陸沿岸部等で不十分な状態。しかし、道路改築の予算はピーク時の5分の1程度となっており、今後、維持管理費も増大していく中で、今後どういった道路ネットワークを構築していくか、全体構想を作るべきと考えている。そのためには、道路ユーザーの方々からニーズを聞きながら構想を作っていくかなければならない。」と設立の目的を説明しました。

懇談会は、県内各地の物流・観光・医療・商工関係等の各委員で構成することとし、会長には元田良孝岩手県立大学総合政策学部教授を選任しました。



会長の 元田良孝 岩手県立大学教授

【第1回懇談会の概要】

事務局から「岩手の道路の現状と課題」と、物流、観光、救急医療、災害時の4つの視点からの「道路利用の現状」等を説明し、委員の方々から意見をいただきました。

< 主な意見 >

- 命と災害に重点をおいた整備
- 生活道路の視点の必要性
- 事業の選択と集中
- 沿岸部と内陸部のインフラ格差
- ミッシングリンクの早期解消
- 公共交通による対応との組み合わせ



懇談会の様子

第2回懇談会は、「道路整備の方向性」などを議論する予定としており、3月下旬に開催することとしています。

「第1回 いわての道を考える懇談会」の詳細については、下記の道路建設課 HP をご覧ください！

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=806&of=1&ik=3&pn=17&pn=66&pn=780&pn=806&cd=30852>